

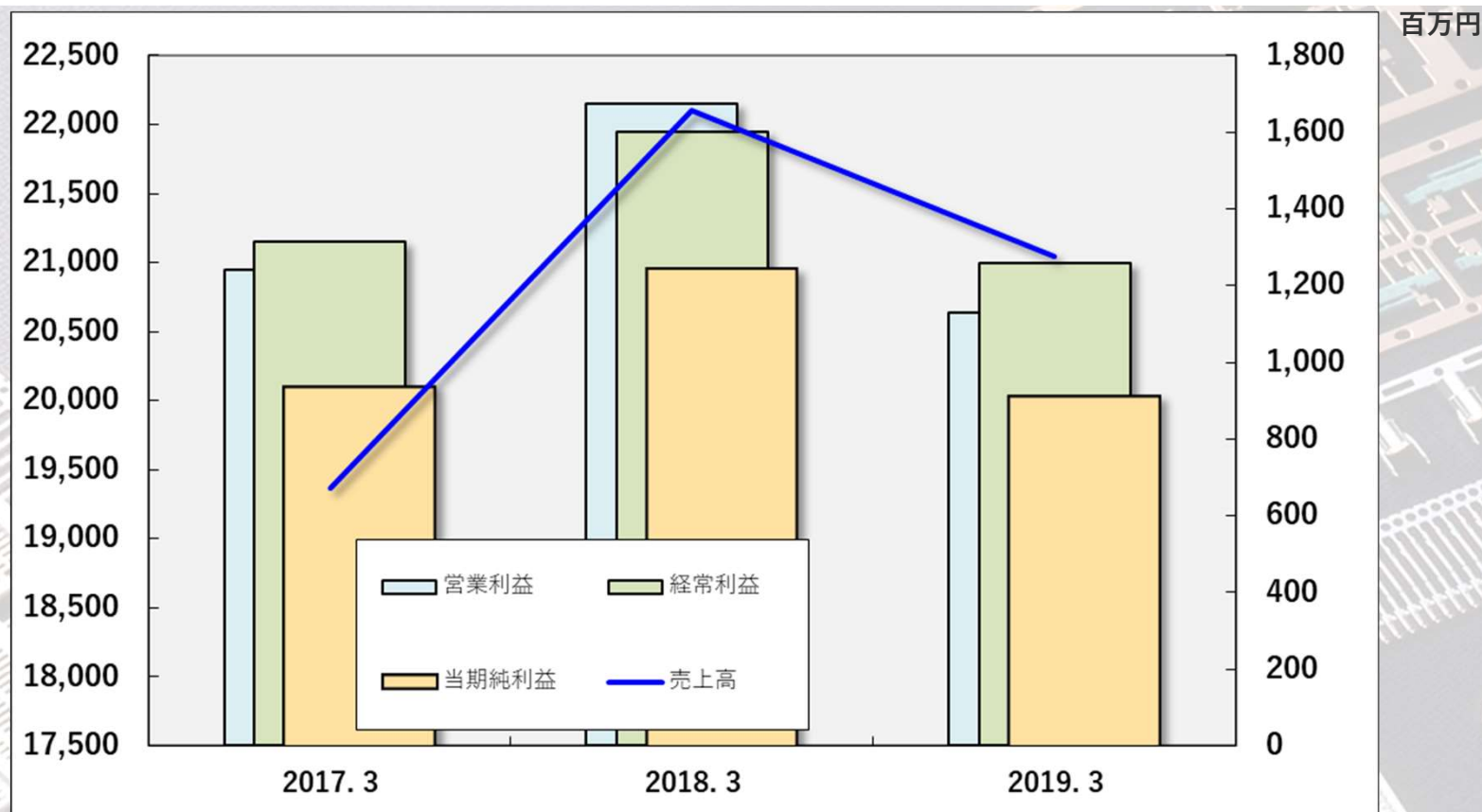


第53期決算説明資料

(2018年4月1日 ~ 2019年3月31日)

業績説明

●連 結



	2017. 3	2018. 3	2019. 3	前期比
売上高	19,366	22,103	21,047	4.8%減
営業利益	1,240	1,674	1,131	32.4%減
営業利益率	6.4%	7.6%	5.4%	2.2P減
経常利益	1,314	1,601	1,260	21.3%減
経常利益率	6.8%	7.2%	6.0%	1.2P減
当期純利益	936	1,246	912	26.8%減
当期純利益率	4.8%	5.6%	4.3%	1.3P減

連結売上高の増減要因

- ・ 車載向け部品は、変わらず堅調な推移
- ・ 前半に競技場等大型ディスプレイ向け、アドバタイズメント用途の成長
→ 後半に調整局面に転じる
- ・ モバイル向け部品はウェアラブル関連では予想を上回り、
スマートフォン部品の落ち込みを緩和

(地域別ダイジェスト)

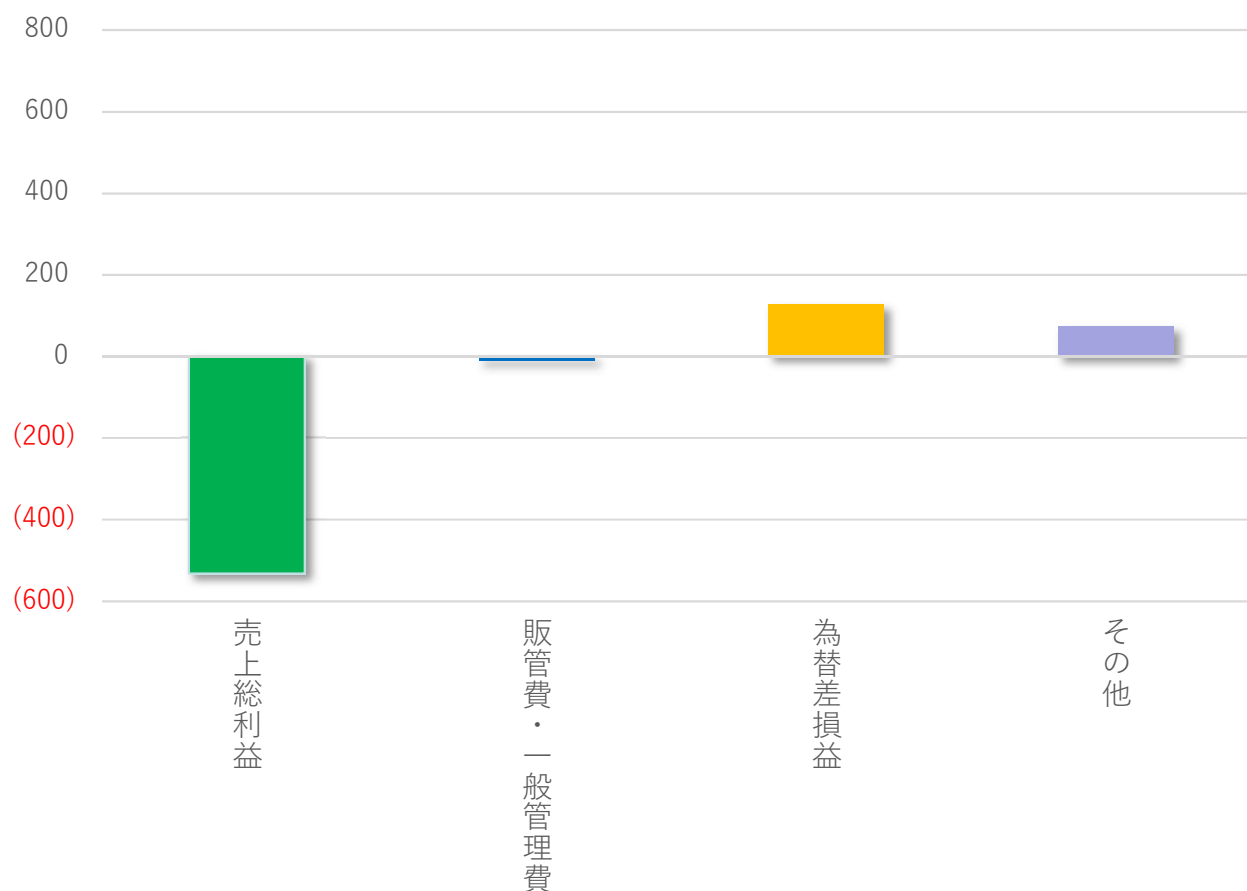
フィリピン

- ・ 車載向け部品の需要は堅調に推移
- ・ 製造工程の革新途上で利益率伸び悩み
- ・ 新工場の建物・設備の償却増加

中国

- ・ 前年度に好調であった民生用機器向け部品が生産調整に
- ・ 各種コネクタ部品の伸長が売上を下支え

経常利益増減要因



(百万円)

経常利益増減要因	2018. 3	2019. 3	増減金額	説明
売上総利益	3, 919	3, 387	-532	売上減少による付加価値の減少
販管費・一般管理費	-2, 245	-2, 256	-11	-
為替差損益	-103	25	128	円安傾向による差益
その他	30	104	74	受取配当金
経常利益	1, 601	1, 260	-341	

① I C ・ トランジスタ用リードフレーム

- ・ 車載向けは変わらず堅調に推移
- ・ 海外子会社における民生用機器向け部品の生産調整

② オプト用リードフレーム

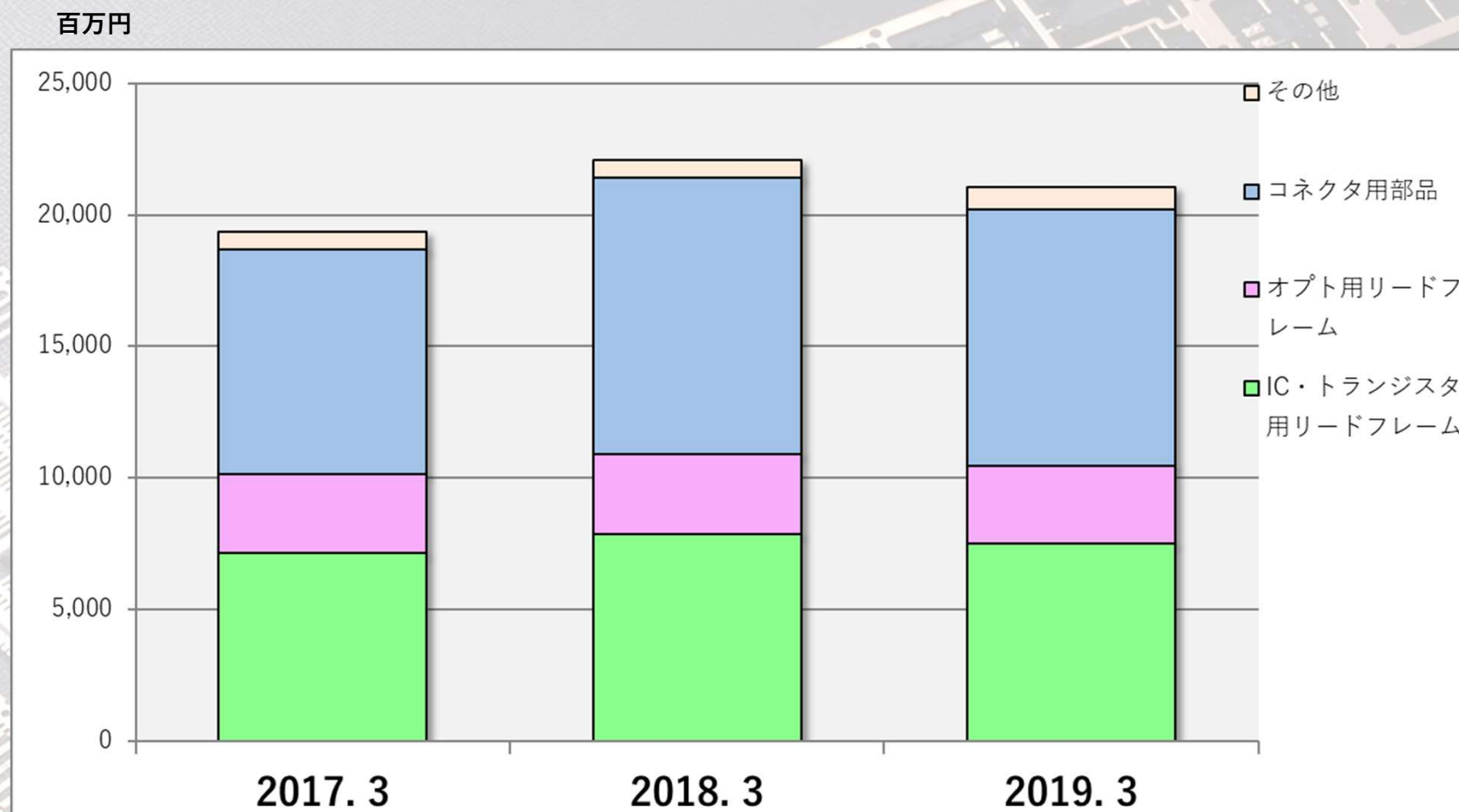
- ・ 市場全体の需要は伸長も国内メーカーがやや苦戦
- ・ インフラ整備、アドバタイズメント需要は前半に好調な推移も、期末に調整局面

③ コネクタ用部品

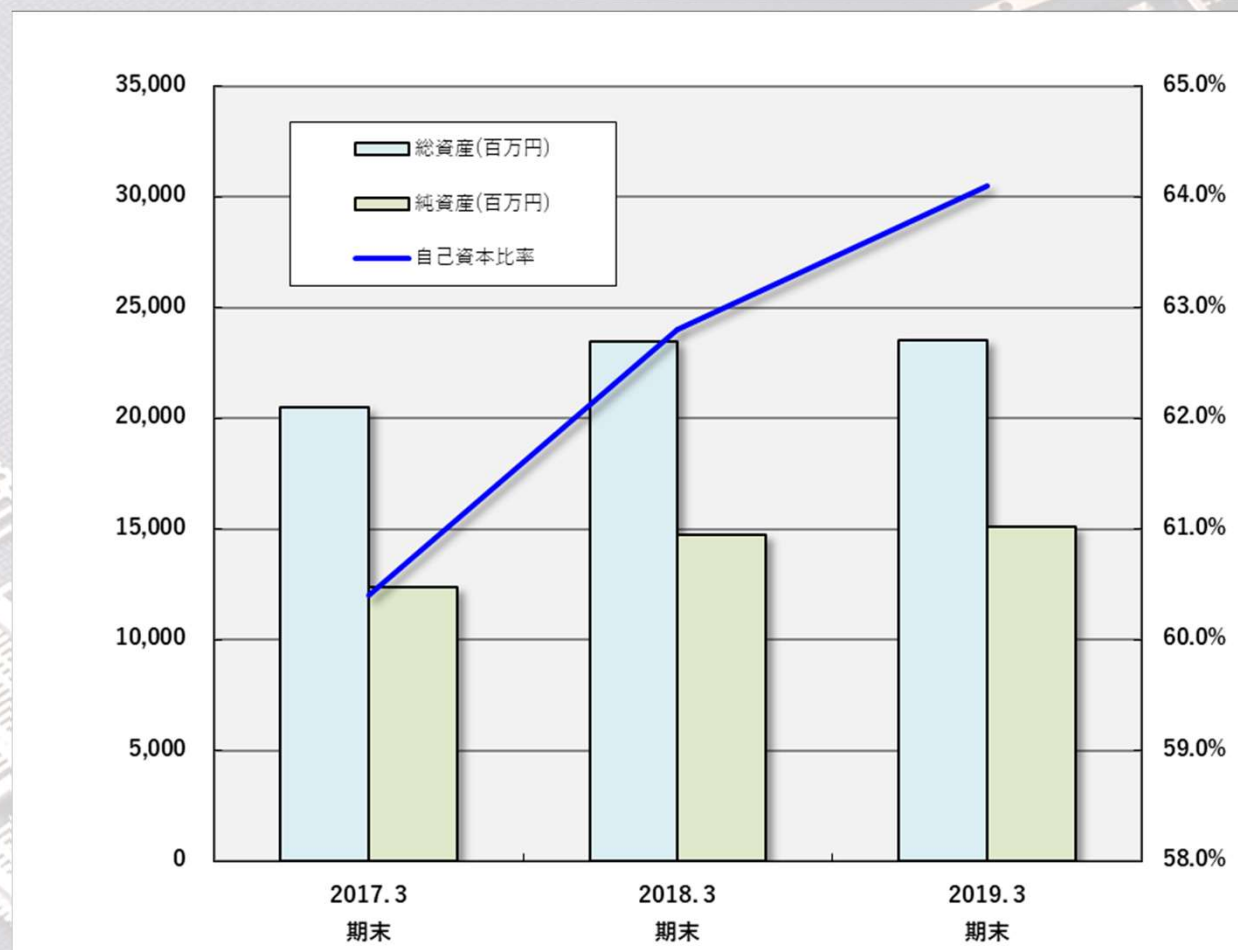
- ・ フィリピンで生産の車載向けは変わらず堅調
- ・ スマートフォン向け部品減産の影響大きく
- ・ ウェアラブル向け部品は予想を上回る需要
→ 当社の注力分野の一つに

④ その他

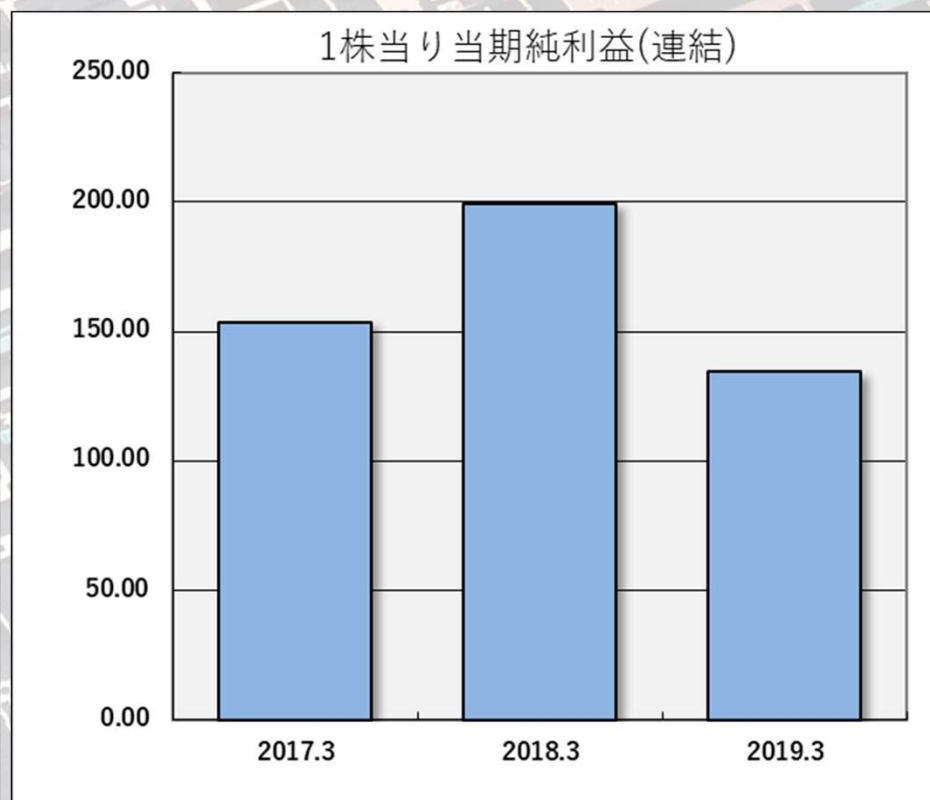
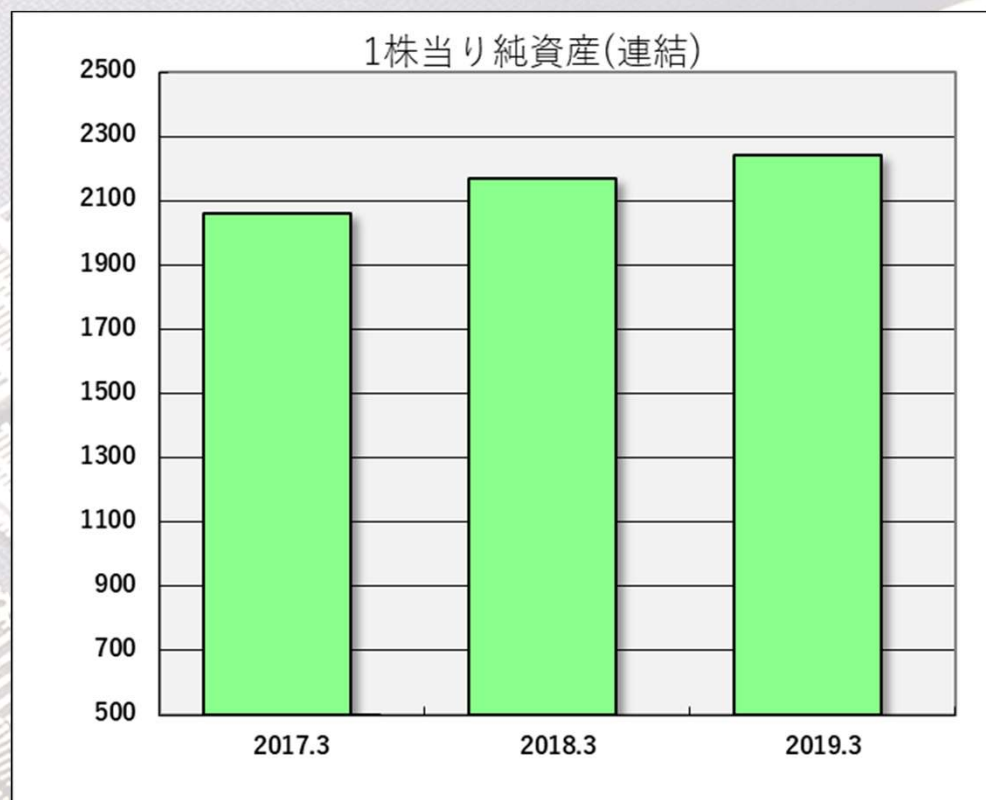
- ・ リレー用部品が主製品、通信関連の設備投資需要により増加



	2017. 3	2018. 3	2019. 3	前期比
IC・トランジスタ用リードフレーム	7,164	7,870	7,513	-4.5%
オプト用リードフレーム	2,973	3,050	2,926	-4.1%
コネクタ用部品	8,565	10,478	9,753	-6.9%
その他	662	703	854	21.4%
合計	19,366	22,103	21,047	-4.8%



	2017. 3 期末	2018. 3 期末	2019. 3 期末
総資産(百万円)	20,491	23,479	23,497
純資産(百万円)	12,377	14,761	15,069
自己資本比率	60.4%	62.8%	64.1%



(円)

	2017. 3	2018. 3	2019. 3	前期比
1株当り純資産(連結)	2, 061. 64	2, 169. 16	2, 240. 94	3. 3%
1株当り当期純利益(連結)	153. 34	199. 30	134. 38	-32. 6%

各品目の動向

① IC・トランジスタ用リードフレーム

☆ 市場概況

- ・ 半導体業界は米中貿易摩擦により世界経済に不透明要素が多く、慎重な見方
- ・ WSTS 半導体市場予測製品別市場動向（世界市場）より
2019年のディスクリート半導体は前半失速も通期では前年比+3.9%の見込み
- ・ 車載向けは電装化率の上昇に伴い堅調な推移

☆ 2020年3月期の見通し

- ・ 車載向けは強く、安定的な推移を見込む
- ・ 民生向け部品は世界経済の動向で受注変動しながらも、前期同水準見込む
- ・ 設備投資関連では下期以降の5G関連需要に期待感

② オプト用リードフレーム

☆ 市場概況

- ・ WSTS 半導体市場予測製品別市場動向（世界市場）より
2019年のオプト関連半導体は通期では前年比+6.8%の見込み
- ・ 国内の大型ディスプレイのオリンピック需要は2019年がピークか
- ・ 「2020年後半以降は、反動から2021年にかけて一時的に需要停滞を予測。
2022年以降は引き続き安定したリプレイス需要、新規ユーザー増加が見込まれ、
堅調な市場が続いていくものと予測」
（富士キメラ総研 「デジタルサイネージ市場総調査 2019」）

☆ 2020年3月期の見通し

- ・ 期初で在庫調整局面も、新規製品受注等により下期偏重見込み
- ・ 前年同程度以上の需要水準を見込む
大型設備投資向け需要は、中長期的な成長を予測

③ コネクタ用部品

☆ 市場概況

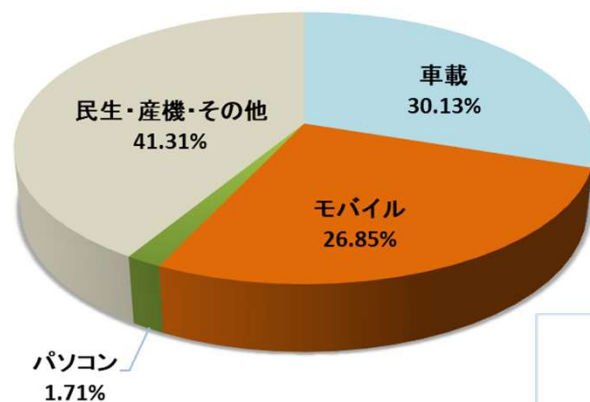
- ・ 電子情報技術産業協会（JEITA）予測、電子部品は2019年世界生産 3 % 増加
- ・ 車載用コネクタ部品の需要は変わらず堅調
- ・ スマートフォンは 5 G へ転換の端境期の為、足元では出荷台数減少
- ・ データセンター・基地局関連需要、自動車の電装化率上昇など
中長期的には需要増加傾向を維持
- ・ ウェアラブルの持続的成長、スマートウォッチは2017年～2022年まで
年率7.3%増で成長予想 （富士キメラ総研 推定）

☆ 2020年3月期の見通し

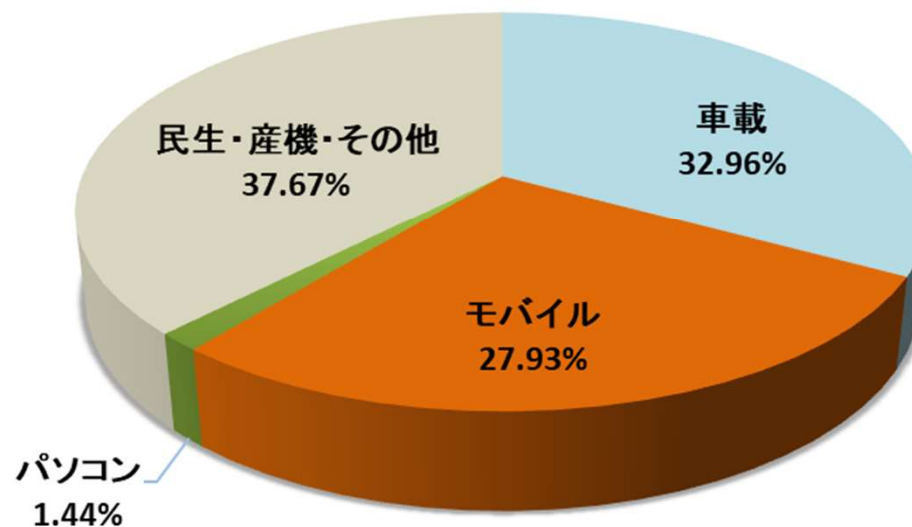
- ・ 車載（エアバッグ関連等）向けのコネクタは変わらず堅調な推移を見込む
当社の生産・品質管理能力の強化によって増大を図る
- ・ スマートフォン向け部品は、通期で前年同水準または減少
- ・ ウェアラブル関連部品は市場拡大基調、技術革新に注力し更なる受注獲得を目指す

用途別量産品売上割合

2018年3月期 量産品分類別売上

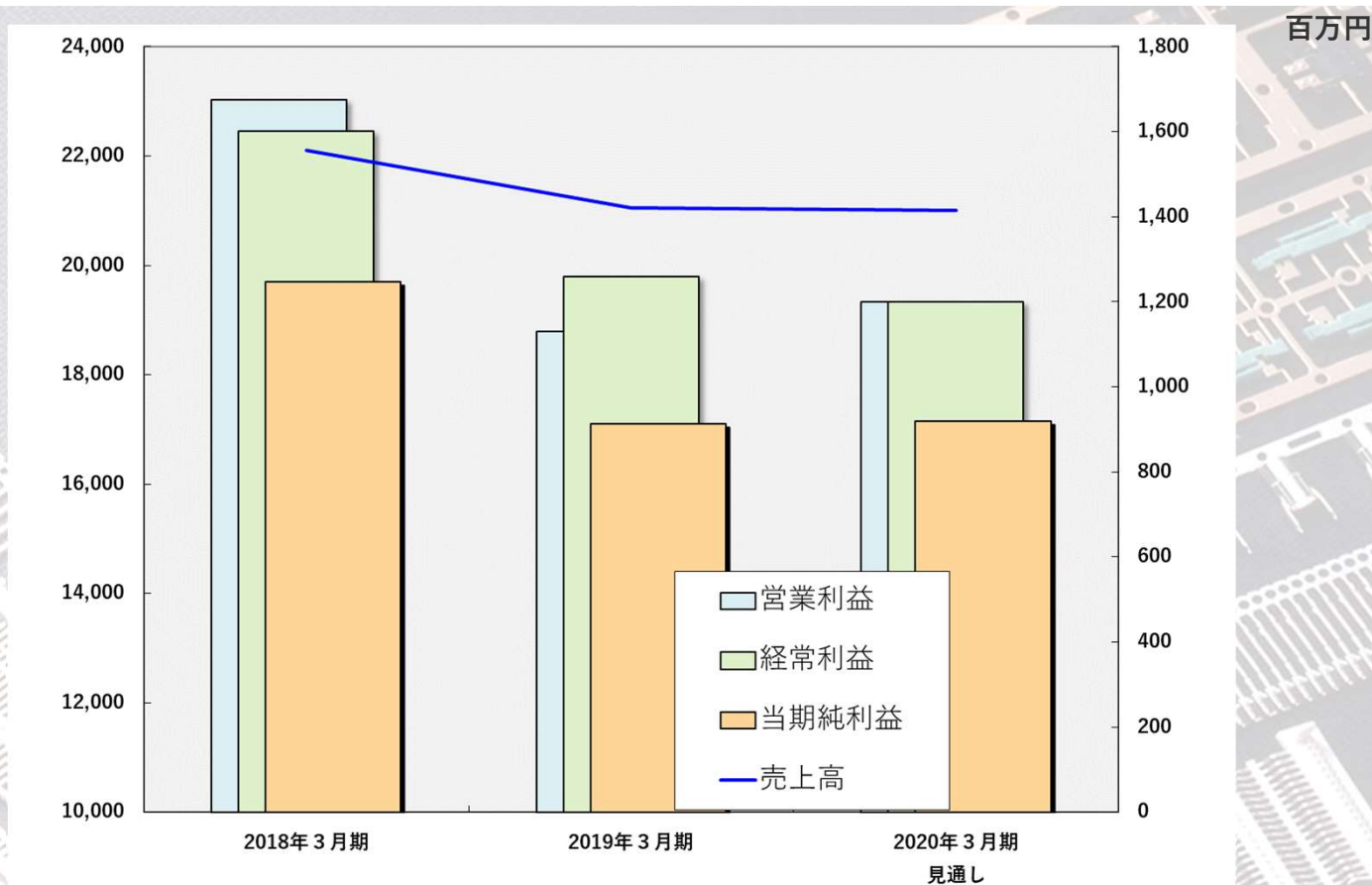


2019年3月期 量産品分類別売上



2020年3月期見通し

●連 結



	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期 見通し	前期比
売 上 高	22,103	21,047	21,000	0.2%減
営 業 利 益	1,674	1,131	1,200	6%増
営 業 利 益 率	7.57%	5.37%	5.71%	-
経 常 利 益	1,601	1,260	1,200	4.8%減
経 常 利 益 率	7.24%	5.99%	5.71%	-
当 期 純 利 益	1,246	912	920	0.8%増
当 期 純 利 益 率	5.64%	4.33%	4.38%	-

☆配当政策

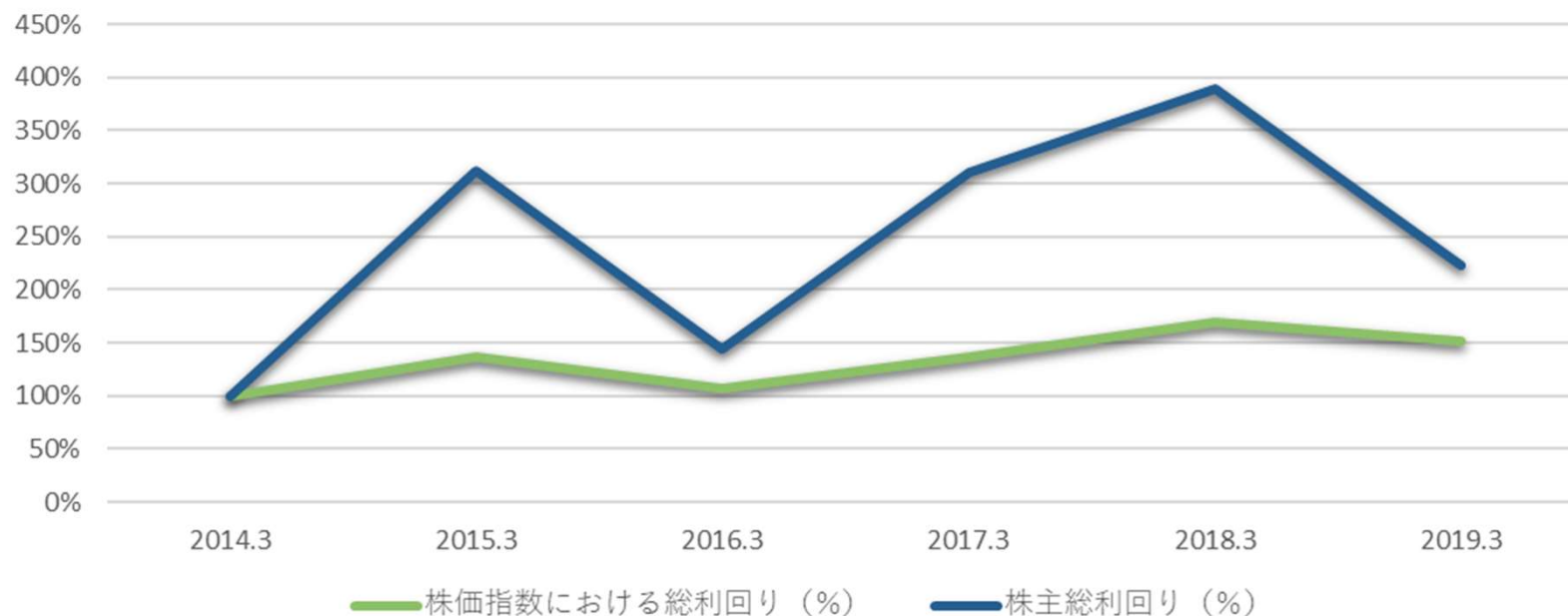
2019年3月期：普通配当 30円に一部指定記念配当
5円を加え、35円を予定。

2020年3月期：安定的な業績を見込み普通配当 35円。

	1株当り 期末配当金	内訳
2018年3月期	35円	普通配当 30円 上場記念配当 5円
2019年3月期	35円	普通配当 30円 上場記念配当 5円
2020年3月期	35円	普通配当 35円

企業価値向上策

選択指標＝TOPIX電気機器との比較



	基準	最近5事業年度				
	2014.3	2015.3	2016.3	2017.3	2018.3	2019.3
① 期末日株価(終値) (円)	432	1,347	605	1,305	1,609	851
② 1株当たり配当(単年) (円)	－	0	15	25	35	35
③ 1株当たり配当累計(円)	－	0	15	40	75	110
④ ①＋③	－	1,347	620	1,345	1,684	961
⑤ 株主総利回り＝④／基準年の株価	100%	312%	144%	311%	390%	222%
⑥ 提出会社が選択する株価指数【期末TOPIX 電気機器】	1,972	2,703	2,119	2,690	3,344	2,984
⑦ 株価指数における総利回り＝⑥／基準年の株価指数	100%	137%	107%	136%	170%	151%

(2019年1月31日公布「企業内容等の開示に関する内閣府令の一部を改正する内閣府令」に基づく記述)

①新規顧客開拓・新規市場参入

◆営業活動

☆車載・産機等安定的な市場をターゲットに受注強化を図る

☆営業開発室(2018年新設部署)

☆新規顧客の開拓

☆既存顧客における「他事業部製品」の受注開拓

・・・「取りこぼしていた需要」の再発掘

◆IATF16949認証取得・・・車載部品受注強化

☆国内・岩手工場を先行し、他工場への取得準備

☆海外・中国取得済み、フィリピンでの取得及び体制整備

②研究開発

◆燃料電池用新型セパレータ開発

☆県・大学と共に展示会などへの参加を通じて、成果の発信

③IR活動

◆個人投資家説明会

☆2018年度に東北地区(青森・岩手)で開催

☆株主構成等を精査し効果的に開催

ENOMOTO Co.,Ltd.

会社概要

【会社名】 株式会社 **エノモト**

【英訳名】 ENOMOTO Co.,Ltd.

【証券コード】 6928 （東証一部）

【URL】 <http://www.enomoto.co.jp/>

【代表者】 代表取締役社長 武内 延公

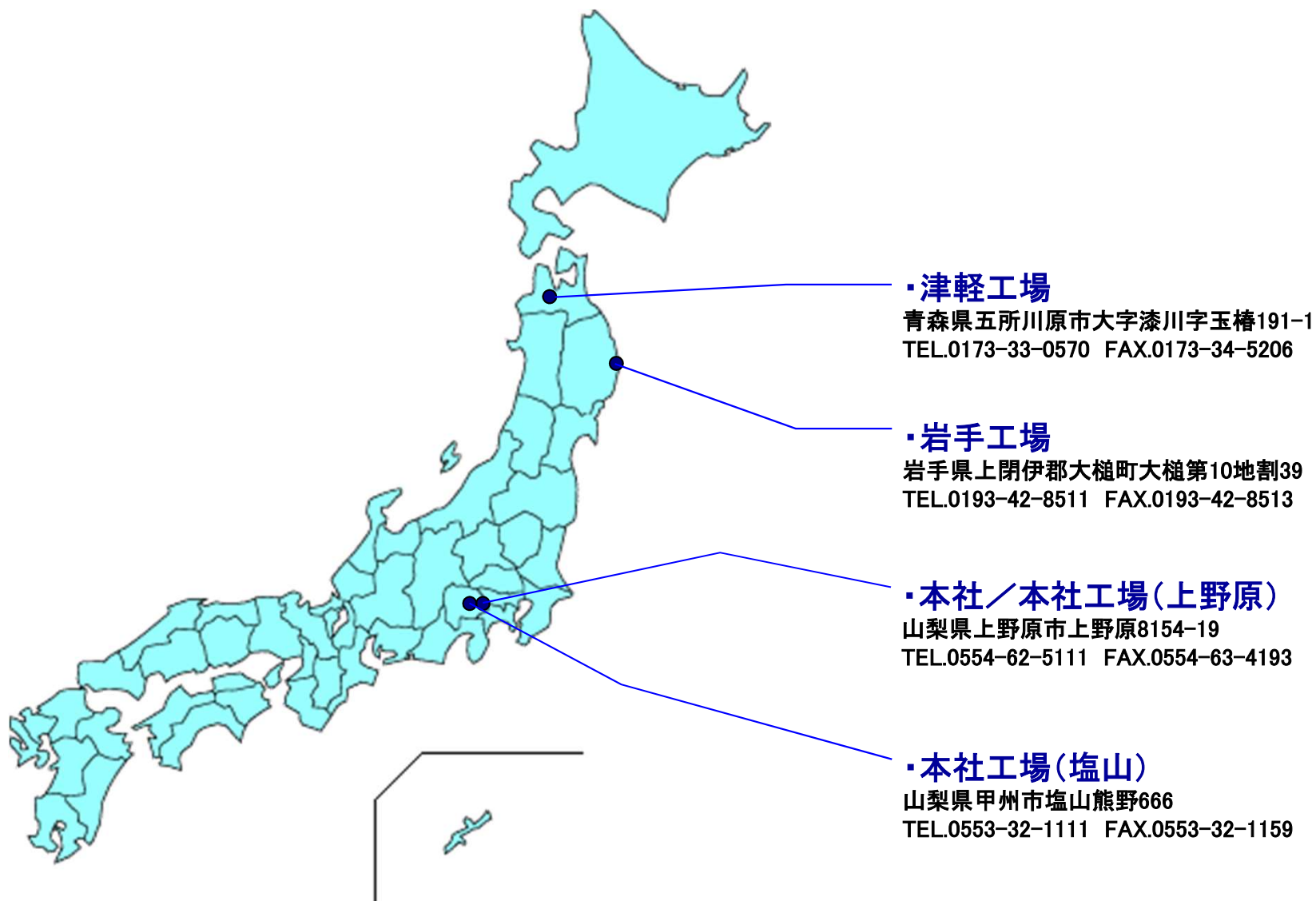
【問合せ先】 経営管理グループ統括執行役員 山下 久幸

【E-Mail】 ir@enomoto.co.jp

【本社所在地】 山梨県上野原市上野原8154－19

【電話番号】 0554(62)5111(代表)







▪ **ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd.**
広東省中山市火炬開発区逸仙工業区
TEL.+86-760-8533-5111 FAX.+86-760-8533-5113

▪ **ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd**
香港九龍梳士巴利道3号星光行1805室
TEL.+852-2199-7848 FAX.+852-2199-7918

▪ **ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc.**
PEZA-Gateway Business Park Javalera Gen.Cavite Philippine.
TEL.+63-46-433-0263 FAX.+63-46-433-0264

注意事項

事業の展望、業績予想等の将来の動向にかかる記載につきましては、歴史的事実ではないため、不確定な要素を含んでおります。

現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があることをご了承願います。